



ふじみ

第156号

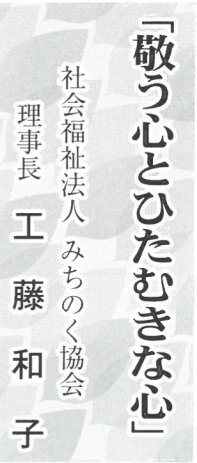
平成30年10月1日

発行人 社会福祉法人みちのく協会
 責任者 理事長 工藤和子
 施設 特別養護老人ホーム富士見荘
 ケアハウスアーベイン八幡平
 松尾デイサービスセンター
 介護相談所陽だまり
(富士見荘指定訪問介護事業所・富士見荘指定居宅介護支援事業所)
 地域密着型介護老人福祉施設はらからの里

岩手県八幡平市松尾寄木第11地割13番地1
 電話 0195(78)2455(代) FAX 0195(78)2467
 E-mail fujimiso@rnac.ne.jp
 URL http://www.rnac.ne.jp/~urbane/

題字：福田 常雄 氏

「敬う心とひたむきな心」



社会福祉法人 みちのく協会
 理事長 工藤 和子

猛暑の夏もようやく落ち着き、秋の風が心地よい季節となりました。日頃より、法人運営にご協力、ご支援をいただきまして誠にありがとうございました。年間行事の中、でも大きなイベントとなります「富士見荘敬老会」を九月十七日、ご来賓の方々からご出席をいただき、ご入居者様とご家族様と共に祝いいたしました。百歳をお迎えになった入居者様もおられ、大変喜ばしく思っております。そして、八十九歳の記念品として県立平館高校の生徒さんが作られた「紫根染め」の枕が贈られました。丹精込めて作られた地元愛あふれるプレゼントで、その枕の中に紫根染めの布が入っていると聞いて、とても感激いたしました。また、九月は秋彼岸の月でもあり、鷲連寺の住職様より法要して

いただき、ご入居の皆様と合掌し、ご先祖様にも感謝し、これからも共に穏やかで安心した暮らしを祈念いたしました。

さて、以前にご紹介いたしました当施設介護職員であり、さんさ踊りの「ミス太鼓」でもある佐藤さんが岩手を代表して日本文化を紹介するためにフランスへ行き、さんさ踊りを披露することになりました。本人に「観光する時間はあるの」と聞くと「無いようですが、一生懸命、大好きなさんさ太鼓を披露してきます」と言っておりました。

介護の仕事も大好きでさんさの太鼓もひたむきに一生懸命取り組んだ結果が、このような褒美として返ってきているのではないのかなと思っております。私も敬老を祝われる方に近い年頃ではありませんが「ひたむき」に事業運営に臨む決意を新たにしたい、今日このころでございます。



特別養護老人ホーム

富士見荘

☎(0195) 78-2455

いい顔

七月十日、東日本大震災の時に人的支援を頂いたご恩返しにと毎年この時期に大槌町堤福祉会さまに「出張ラーメン」のご慰問を頂いております。メニューは、沿岸ならではの美味しい塩ラーメン。この時はかりは、施設の栄養士に目をつぶってもらい「塩分・カロリー制限は無し」の大盤振る舞いです。

ラーメン嫌いの方は別として、良い顔で美味しく召し上がられておりました。



夏祭り

八月八日、好天に恵まれ盛大に夏祭り開催。柏台小学校の「八幡平太鼓」・職員有志の「さんさ踊り」・柏台地域青年会の「復刻・松尾鉦山音頭」・あい子おばちゃん「軽妙トークと民謡」等々、夏の夜を満喫しました。



芸術の秋

毎月第四週の火曜日に開催している「布アート教室」八月のお題は「皿の上に乗った葡萄」布アート教室が始まってから皆勤賞の「黒一点」の中さ。照れ隠しをしています。さすがの力作。

新人のヨシさんは、今回が初挑戦。先生の手ほどきもあって、初めてとは思えぬほど上手に出来上がりました。次回は、どんな作品ができるか、ご期待。



地域密着型介護老人福祉施設 はらからの里

☎(0195)
68-7880

【さくらんぼ狩り】

入居者様のご家族から、毎年頂いているさくらんぼが今年も届きました。なんと、山形から木を切って持って来ているそうです！

職員がさくらんぼの木を持って各ユニットを回り、入居者の皆さんでさくらんぼ狩りをしました。「甘いねー」「いや〜美味しいねえー」と、皆さん大変喜ばれているようでした。あつと言う間にさくらんぼが無くなり、さくらんぼが無くなった木を見て、入居者様も笑いながら「たくさんあったのね」と、話されていました。

色々な物を、たくさんのご家族様から差し入れとして頂き、感謝しております。これからも、はらからの里をよろしくお願い申し上げます。



【平舘小学校の相撲観戦とサラダファーム】

七月は、平舘小学校にお邪魔させて頂き、相撲観戦をしました。子供達の元気いっぱいな取り組みを観て、入居者様もついつい応援に力が入ります！「どっちも頑張れー」「可愛いな」と、皆様笑顔です。

とても暑い日でしたが、応援で更に熱くなったので、ちよつと寄り道する事に♪サラダファームのソフトクリームを食べに行きました。たまごソフトを注文。大きなソフトクリームで「こんなに食べられないよ(笑)」と、皆さん言っていました。が、ペロリと完食。やっぱり、皆で食べるのは美味しいですね。

相撲観戦の場所を提供して頂き、有難うございました。



【流しそうめん・スイカ割り】

八月は陽射しがガンガン照り付ける季節。今年もやってきました。はらから名物、雨どいを使った流しそうめん。この日は、毎年入居者様は皆競って食べます(笑)「あーうまく取れないな」「こっちに来ないうちに取られたー」など、椅子から立ち上がり、身を乗り出して食べています。皆様上手に食べられていました。

栄養士が大きなスイカを持って来てくれたので、皆でスイカ割りをしました。なかなか割れず、悪戦苦闘しながら、やっと割れると皆様から拍手が出ました。栄養士に切り分けてもらって、いただきます！「甘くておいしいね」と、皆様楽しま



松尾デイサービスセンターだより

☎(0195)
78-3720

今年の夏はこれまでにないほどの猛暑が続き、全国で熱中症に倒れる人が続出したようです。それだけにとどまらず災害が相次ぎ、自然災害は各地に大きな被害を残していきました。

西日本を中心に広い範囲で起こった集中豪雨、大阪府北部地震、二十五年ぶりといわれる記録的な台風、そして北海道地震。テレビをつけると各地の被害を伝えるニュースでいっぱいになり、特に北海道地震の被害はまるで東日本大震災を想起させるようです。今年被害にあった地域は災害が少ないところだという話を聞きましたが、今後異常気象に伴い、どこで災害に遭うかはわからず、今まで災害がなかったから大丈夫という思い込みはまったく根拠のないものとなりました。

デイサービスでも大雨、地震等が起るたびに利用者様に注意喚起を行っています。各地の災害を対岸の火事と思わず、日々の防災対策に身が引き締まると同時に被災地の一日も早い復興を祈るばかりです。



買い物ツアー

六月と八月には毎年恒例の買い物ツアーがありました。洪民イオンまでバスに乗っていき、「こんなに遠くに来ることがあまりない」とドライブ感覚で景色を楽しめました。洪民イオンに着いてからは広い店内を歩き、品数が豊富で「欲しいものが買える。今日の夜ご飯はこれで決まった！」と嬉しそうに話され、皆さんいきいきとした表情で買い物をしていました。また買い物はせず、ウインドウショッピングをする方もいました。

センター内でのレクでは味わえない刺激を受け、普段は見られない表情が見えると、また買い物ツアーに行きたいなという気持ちになります。今年はおと一回。次は何を買うのだろうとわくわくしながら一緒に楽しみたいと思います。

スイカ割り



猛暑が続く、熱中症注意の呼びかけが途切れず聞こえてくる中、昨年の冷夏と打って変わり、今年はお作物がよく実ったという声も耳に入ってきました。デイサービスでは大きく実ったスイカで「スイカ割り」を行いました。

タオルで目隠しをし、スイカを狙って思いっきり一振り！ですが、なかなか大きなスイカは簡単に割れません。皆さんで交代しながら何度も叩き、ようやくスイカが割れました。

その日のおやつは協力して割ったスイカ。みなさんこの時期にしか食べられない夏の味覚に夢中でかぶりついていました。甘く熟したスイカで皆さん笑顔を見せてくれました。暑い日が続き体調を崩しそうになりますが、美味しいスイカで水分を取り、暑い夏も元気に乗り切ることが出来ました！

リゾート型ケアハウス アーベイン八幡平

☎(0195)
78-2710

「ちよつと外の風に…」

ケアハウスアーベイン八幡平

施設長 箱石 裕

かつて経験したことのない猛暑の夏もようやく通り過ぎたと思っていたら、早や半年が過ぎてしまいました。それにしてもアーベイン八幡平のまわりでも気温三十度を越す日が連続するなんて考えられない毎日でした。そんな中でもアーベイン八幡平の入居の皆様はもとより職員にも熱中症に倒れることもなく元気に毎日を過ごしていただいたのは、とても幸いなことでした。

さて、アーベイン八幡平の大きな目標に「快適な日常生活の提供」というのがあり、その実現に向け様々なイベントに取り組んでいると度々お話ししてきたところですが、今回は「ちよつと外の風にふれたいなあ」と思う入居の方々へのサポートについて紹介しましょう。入居の方々の外出へのサポートといってもその形は様々です。最も身近なところで「通院の為の外出」次いで「買物の為の外出」でしょうか。その他としては、美術館や博物館観賞のための外出、

市役所等への手続きのため、また銀行等利用の為の外出など私的理由によるニーズは多岐にわたります。施設のイベントとしては近隣の観光地への送迎で、観桜、紅葉狩り、サクラノボ狩りなどの企画が季節イベントとして組まれています。移動手段はほとんどが乗用車ですが、その日の入居者の皆さまの動きに合わせて軽四輪自動車であったり中型バスであったり、普通乗用車であったりします。それに加えて、運転手の確保が又ひと苦勞になります。という訳で「一寸外出したいが…」「ハイ、わかりました」

と臨機に対応できない時も又ある訳です。勿論、緊急性が高い場合には、万難を排して対応しておりますが、そんなことも含めて、「アーベイン八幡平の日常」と胸に刻んで「送迎サービス」の充実」に取り組んでいくところです。



「ケアハウスに入居するには いくらかかるの?」

アーベイン八幡平は、軽費老人ホームのひとつで、A型(食事提供あり)・B型(食事提供なし)・ケアハウス(食事提供あり)のうちケアハウスに分類されます。元々は介護の必要のない方々が対象でしたが現在は、特定入居者生活介護(介護サービス付)のサービスも選択できるようになりました。

料金については、月額で以下の通りです。

管理費

一人用

一括方式(20年分)

8,000,000円

月額

45,000円

二人用

一括方式(20年分)

13,000,000円

月額

70,000円

冬季加算(11月~3月)

5,800円

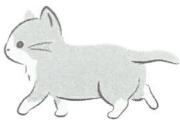
生活費

42,490円

事務費(収入により)

10,000円~

67,542円



合計
約100,000円~
約180,000円
となっております。



また、管理費一括方式の方につきましては、月額53,000円ほどからご入居可能な方々があられます。

その他、固定電話料金・電気料金・水道料金がそれぞれかかります。

また、特定施設入居者生活介護を利用される方(要支援1~要介護5)は、一割負担の方で6,440円~27,572円別途費用がかかります。

と、お金の話をしましたが、居室の料金につきましては、現在特別養護老人ホームでも個室でユニットケアを行うところが増えてまいりました。この際のお部屋代については、国の示している基準額が1,970円であることを踏まえると、1ヶ月あたりのお部屋代が自己負担額約6万円からとなり、食費につきましても基準額が1,380円ですので、一月の自己負担額約42,000円からとなります。

介護の費用につきましては、8月より、新たに三割負担の方々が創設されましたので、ご利用される方のうち経済的に余裕のある方の負担が増える傾向にあります。

(遠藤)

愛

社会福祉法人 みるのく協会 基本理念

社会福祉法人みるのく協会の基本理念は「愛と献身」です。利用者一人ひとりの気持ちを大切にし、心をこめた介護をいたします。

筆談

題字 関口作治氏

富士見荘の動き

7	31	寄木小念仏剣舞クラブ慰問
8	8	富士見荘夏祭り
	17	盆供養
	21	布アート(葡萄)
9	17	富士見荘敬老会
	21	秋彼岸供養

富士見荘利用者状況

(平成30年9月10日現在)

市町村	男	女	計
八幡平市	12	56	68
岩手町	0	2	2
その他市町村	0	2	2
合計	12	60	72

富士見荘入退居者状況

入居者	7月			退居者	4月		
	4	(1)			4	(0)	
	8月	4	(1)		3	(0)	
	9月	2	(0)	3	(2)		

※入居()内は再入居。退居()内は死亡
※平成30年9月18日現在のもの

富士見荘短期入所生活介護

市町村	7月	8月	9月
八幡平市	231	204	194
他市町村	35	6	12
合計	266	210	206

配食サービス

人数	月	7月	8月	9月
利用者数		226	222	230



編集後記

今年の富士見荘敬老会は、趣向を変えて余興を無くし、ピアノとフルートの生演奏を聴きながら、ご家族様と一緒にゆったり食事を楽しんでもらう時間を創りました。食事は、お寿司とすまし汁、煮物にデザート、ドリンクといったメニューをバイキング形式で提供しました。本場に「寿司」は、ミラクル・マジック料理です。普段食が細かい方、嚥下がままならず、飲み込みが難しい方もすいすい・あれよ・あれよとペロッと食べられますし、良いお顔・表情で召し上がられます。お年寄りさんにとっての「寿司」は、食欲から唾液から内臓の活動に至るまで、脳内から活性化物質が大量に放出されているに違いありません。

当ホームの平均滞在期間は、三年ちよつとです。こんな楽しそうな、笑顔を見せてくれる機会をあと何回創れるでしょうか。この場所を終の棲家として選んでいただき、私達と共に生活している日々の中にどれだけ笑顔を創れるか、これが私達に与えられた使命かなと実感した食事会でした。

(松尾)

